

高野参詣 黒河道 雑事のぼり

ZOUJI・NOBORI

ウオーク (健脚・中級向き)

平成27年 4月18日(土)

集合：JR・南海 橋本駅前 7時30分

解散：奥之院御供所 15時30分

参加費：500円 当日払い(傷害保険料・資料代として)

募集人数：先着80名 (A、B：20名、C：40名) 「事前申込制：裏面参照」

※標高差 850m。一部に道幅が狭いなど、歩行に注意を要する箇所があります。少雨決行。
当日 6:00 現在で、現地に気象警報が発表されている場合は中止します。

なくち

高野七口と呼ばれる参詣ルートのひとつ黒河道を歩き橋本から峠越えを重ねて高野山奥之院に向かいます。途絶えていた**雑事のぼり**を復活し、**生身供**の材料に使っていただく野菜など前日の午後、応其寺又は定福寺にお寄せいただいたものを運びます。(小雨決行)

雑事 (ぞうじ) のぼり

御番(判) 雑事ともいい、高野山周辺の村々にあった風習。季節の野菜・果物などを奥之院御廟に供え、寺院に贈る。当番制で各家から集めたものを「負い籠・オウヨ」に担ぎ山道を登り弘法大師に捧げた。街道筋では季節の花や野菜を軒先(雑事懸け)に出しておく、高野へ物資を運ぶ折りに積んで登った。

生身供 (しょうじんぐ)

1日2回お大師さまの食事を運ぶ儀式。奥之院の御廟には、今も弘法大師空海が金剛定に入っているとされ、維那(ゆいな)と呼ばれる僧侶が、1200年にわたって給仕しています。

久保小学校 平成25年4月13日撮影

市平 桂の木 平成16年3月30日撮影

生身供

主催 高野七口再生保存会
共催 黒河の会・橋本観光ガイドの会
協力 応其寺・定福寺・中島大師講・高野口文化財研究会
(順不同) くにぎ広場・農産物直売交流施設組合・FMはしもと
後援 橋本市・橋本市教育委員会・九度山町・九度山町教育委員会・高野町・高野町教育委員会・高野山大学